

# かしま 議会だより

第85号

平成28年6月議会号

平成28年7月発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



「肥前鹿島干潟」ラムサール条約湿地登録1周年記念オープニングセレモニー及び子どもラムサール観察隊のみなさん

6月定例会日程と議案	2～3P
議案審議	4～5P
一般質問	6～9P
意見書・議会交流報告	10～11P
委員会報告	12～13P
議会あれこれ・議長交際費	14P



鹿島市のイメージキャラクター  
かし丸くん



- (9) 議案第44号 専決処分事項の承認について(平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))
- (10) 議案第45号 市長及び副市長の諸給与と条例の一部を改正する条例の制定について
- (11) 議案第46号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (12) 議案第47号 鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について
- (13) 議案第48号 鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- (14) 議案第49号 鹿島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- (15) 議案第50号 鹿島市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (16) 議案第51号 平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について
- (17) 議案第52号 杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更に係る協議について
- (18) 議案第53号 平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について
- (19) 議員提案議案等  
意見書第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係わる意見書(案)
- その他  
(20) 請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願

## 次のことを審議し決定しました

### 【6月定例会】

議案第41号	専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
議案第42号	専決処分事項の承認について(平成27年度鹿島市一般会計補正予算(第7号))
議案第43号	専決処分事項の承認について(平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))
議案第44号	専決処分事項の承認について(平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))
議案第45号	市長及び副市長の諸給与と条例の一部を改正する条例の制定について
議案第46号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第47号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について
議案第48号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第49号	鹿島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第50号	鹿島市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第51号	平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について
議案第52号	杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更に係る協議について
議案第53号	平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について
請願第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願
意見書第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係わる意見書(案)

# 議案審議

議案第43号

## 専決処分事項の承認について 「平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)」



角田 一美 議員

**質問** 国保特別会計の赤字決算の今後の取り扱いについて累積赤字が2億7百万円で27年度1億5千5百万円と急激に増加している。平成30年度県内統一化に向けてその取扱は慎重にすべきだが！

**答弁** 前年度から肝炎治療の新薬が保



松田 義太 議員

**質問** 国民健康保険運営の平成30年度広域化に向けての状況と、県内各市町が抱える国保特別会計の累積赤字は新制度移行前に解消しなければならぬのか。また、当市の国保特別会計の累積赤字は2億7百万円と厳しい運営となっている。今後の対応をお伺いする。

**答弁** 新制度移行後に一定期間をかけて公平性を重視し、県内の国保税を一

険適用になり肝炎治療だけで約1億8千万円の保険給付費(約40名)が急激に増加し赤字の要因になっている。国保事業は平成30年度県内統一が決定しており来年度迄に累積赤字は精算しておく必要がある。市民の税負担の不公平感をなくす為にはどういう負担のあり方が良いのか慎重かつ早急な処理の議論をお願いすることになる。

律化する方向性が示された。新制度移行前の平成29年度末までの赤字解消が示されており、収納率の向上等、様々な対策を講じている。



議案第44号  
専決処分事項の承認について  
平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)



伊東 茂 議員

**質問** 国保特別会計は一般被保険者医療給付費が増加し、平成25年より単年度赤字の額を補填してきた。しかし、平成27年後半に肝炎の高額新薬が認可され、更に医療給付

速に拡大した。平成28年より新薬の3割が薬価減となる。今後は国・県の交付金の推移を見て赤字解消の方向性を見出す。累積赤字については国保税滞納額約2億5千万円の収納率向上に努めることが先決と考える。

費が膨れ単年度で154,921千円の赤字、累積赤字が207,508千円となり平成28年予算から繰上充用の補正である。国保会計の今後の見通しと平成30年には県内国保一本化の統合を控え、累積赤字の解消は可能なのか質問する。



議案第47号  
鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について



松尾 征子 議員

市民にわかる議員活動

**質問** 特別職報酬等審議会から増額の答申が出された。議員に対してどんな意見が出されているか。

**答弁** ①レベルの高い人が出てがんばれる高い報酬が必要。②上がれば、魅力をもってやろうという人が出てくるのでは。

今の状況では会社を辞めてまでとはならない。③活動の内容が知らされていない。何しているかわからない。④上げるのなら定数を減らして財政に支障ないように、議員のモチベーションもあがるのでは⑤個々の活動がわかりにくいという意見が多く出ている。SNSを使って活動状況を市民に周知するように。

議案第51号

平成28年度 鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



稲富 雅和 議員

**質問** 園芸振興費で、今回強い農業づくり交付金事業が、事業変更で産地パワーアップ事業に組み替えを行ったが、この件は新年度予算で説明や現地視察もした。どうしてこの時期に組み替えをしたのか。

**答弁** 強い農業づくり交付金事業は全国的に手を挙げる自治体が多く、採択されにくい。今回産地パワーアップ事業が新たにT P P対策として国が補正



中村 一堯 議員

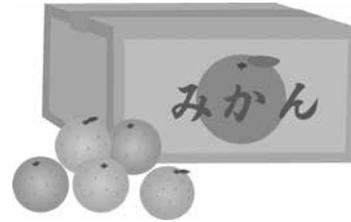
災害時における市民課での対応

**質問** 熊本地震以降、市民が暮らしの安全性について非常に関心を持っていきます。

もし鹿島市で熊本地震のような災害が発生した場合、市民課で速やかに対応できる体制は整えてありますか？

災害後の保険や補償を受ける場合や

を生まれ、県と協議をして行く中で、産地パワーアップ事業が採択されやすく事業内容も変わらないう事である。今回組み替えを行うものであります。



市内外へ転出転入する場合など、住民票やその他の公的書類が必要な場合にすぐに対応できますか？

**答弁** 災害時における市民サービスへの対応については何が起ったときも速やかに対応できるように体制をとっています。市民課だけでなく災害時には他の課とも連携して、市民のニーズに応えられるよう適宜適切に対応していきます。

議案第52号

杵藤地区広域市町村組合規約の変更に係る協議



福井 正 議員

**質問** 杵藤地区広域市町村圏組合は、平成2年に、

当時の2市10町と県が出資して、10億円の基金がつくられた、基金の利息は、各市町の町づくりなどに用立てられそれぞれの振興に役立ってきた。今回規約変更がなされ、基金の取り崩しがなされ

議案第47号 反対討論

鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について

松尾 征子 議員

市民の中から選ばれた八人の特別職報酬等審議会から報酬増額の答申が出された。議員活動が保障される報酬であるべきと考える。勿論議員報酬は生活給ではない。今の市の報酬では議員活動が十分に保障されるものではない。税込み三十三万一千円、手取り約二十五万円。議員活動は非常に複雑。四十五年前初めて議会に出た頃とは大きく変わっている。市民からの相談や要求も複雑になっていく。他の仕事を持つなど考えられないし、無理なこと。議

員の活動は常勤の活動と変わらない。二十四時間束縛されているといってもいい。他市町では報酬の外に、政務活動費などで活動が保障されている。鹿島にはない。商売をしている人、会社を持っている人、退職して年金のある人など、ある程度の生活保障のある人が今の議員である。私も家族のおかげで生活出来ている。収入の少ない勤労市民、若者、家族の生活を支えなくてはいけない人等いろんな階層から市民の代表として議会に出るべきだが、収入の少ない事が立候補出来ない要因で

るが、どういう用途に使用されるのか。

**答弁** 杵藤地区広域市町村圏組合クリーンセンターが伊万里の西部環境組合のクリーンセンターに移管され、杵藤クリーンセンターの取り壊しのために約3億円必要となり、そのための取り崩しである。

もあると思う。長年据え置かれた議員報酬が月三千円増額提案されているもの。今鹿島市内の市民の暮らしを見ると三千円の増額を喜ばない。アベノミクスにより国民の暮らしは落ち込んでいる。消費税の八パーセントへの増額により購買力は落ち込み、安倍首相でさえ「こんなに落ち込んでいる。第一次産業はもろろん、その影響も大きく、商店街もますます大変な事態に落ち込んでいる。国保税等も払わなくてはならない事がわかっていても払えないというような市民生活。こんななかで、月額三千円といえども、今回の報酬増額には反対。

一般質問

# 一般質問

## 子どもの立場に立つて



松尾 征子議員

**質問一** 入学準備金、修学旅行費用については、前払いにする様に訴えてきた。三月議会後の取り組み、結論はどうなったのか。

**答弁** 市内中学校で調べたら、納入がなかったとか旅行に行けなかったとか、後で払ったとかはなかった。保護者は積立とかかされていたのではと

思っている。

**質問二** 学校をまず調べるともってのほか。苦しいなか借り入れをして納入されてる人もある。積立てなど無理。余裕がないので制度を利用している。

**答弁** 積立てをお願いしたい。前払いして認定されない時は、後で支払ってもらわなくてはいけない。

**質問三** 入学準備金については入学時に間に合うように支給すること。

**答弁** 認定は三月末頃終わる。四月中旬認定名簿が出来ると。最短でも六月支払いになる。

**質問四** 準備金の基準は小学生二万四七〇円。中学二万三三〇〇円。実質は小学五万三千円、中学五万八千円まともに出ても足りない。文科省の教育局長は「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給を出来るよう充分配慮するよう通知している」との発言がある。通達は来ていないのか。



**質問五** 国の通達を教育局長はどう思っているのか。

**答弁** 国からの通達はきている。

**質問六** 文科省が「せろ」と言ってるのになぜ出来ない。ただちにやるべき。

**答弁** 予算に関してこちらで十分に確保出来ない事情。市の財政を考えながら研究をさせてくれ。

**質問七** 当然させなくてはいけないもの。今後早急に研究させてくれというものでない。事務側の都合でなく、子どもの立場に立つて早急に取り組むこと。又基準額など国に対しても要望を出していくこと。

## 鹿島市の防災活動について



片淵 清次郎議員

四月に起きた熊本地震により、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げます。被災された方々にも避難生活を余儀なくされている多くの方々にお見舞い申し上げます。そして、未だ行方不明になっておられる方の捜索活動が早く解決しますよう、心より願っております。

**質問一** 雲仙普賢岳災害や東日本大震災等の大災害時には、消防団員自身が被災者となる危険性が非常に高い。団員自身の安全を目的とした教育・訓練の必要性は。

**答弁** 消防団員は、使命感、責任感が強い。二次災害の発生防止、避難行動が第一だということを



今後も訓練・教育の際に徹底して指導していく。

**質問二** 鹿島市は、災害時における緊急避難場所として学校、公民館など市内の35ヶ所を指定しているが避難誘導看板が設置されていない。地元住民への誘導はもちろん、近年増えている観光客や外国人観光客への避難誘導のための看板設置が必要である。

**答弁** 避難誘導看板の設置については、その必要性を認めます。来年度までに市内50ヶ所に掲示板を、また観光客用の誘導看板にも取り組んでいきます。



### 災害対策と熊本地震対応について



杉原 元博 議員

**質問一** 災害が発生した場合の市の対応は。災害対策本部が設置される基準（地震などの規模）、窓口、避難場所の提供について。

**答弁** 市内に震度3の地震発生の場合↓災害対策連絡室を設置。震度4以上の地震発生の場合↓災害対策本部を設置。窓口は総務課、情報が必要となる課で構成。指定避難所を提供する場合は職員を配置。6月号の市報に避難所の一覧を掲載し周知を図っている。

**質問二** 今回発生した熊本地震での、市民の避難状況について。

### 一般質問

44名の方が自主避難をされている。

**質問三** 熊本を中心とする被災地への対応。

**答弁** 4月18日に総務部内に支援室を設置。飲料水（500ml）500本、アルミマット500枚提供。これまでに合計9名の職員を派遣し、避難所の運営業務等に従事。

**質問四** 今後の対応について。

**答弁** ホームページや市報での情報発信に加え、新世紀センター建設に伴い屋内放送システムが整備されることにより、市民の皆様へきめ細かな情報発信に努めたい。

### 保育・介護に安心して暮らす市（まち）へ

**質問一** 社会保障の充実には、福祉人材の確保が不可欠。鹿島市における介護・保育サービスを支える福祉人材の状況。

**答弁** 介護関連施設は、市内47施設で介護職員・看護職員・その他含め979人が従事。市内14保育所の職員は合計257人。

**質問二** 「ニッポン一億総活躍プラン」の中での福祉人材の処遇改善について。

**答弁** 介護離職ゼロへの取組みが示され、平成29年度から月額1万円相当の改善を行うこととしている。保育士では、月額2%（平均6千円）引き上げ、更に保育技術の高いベテラン保育士に給与を厚く配分。



### 鹿島市の安全。安心対策は



福井 正議員

**質問一** 「鹿島市の公共施設の耐震性は」

熊本地震は、6月14日と16日に震度7の地震に見舞われ、49名の死者と1名の行方不明者、多数の民家倒壊、道路や橋梁、水道ガスなどのインフラと、市役所や体育館等の公共施設に多大な被害があり、震災後の救援や住民の把握などが困難になった。このような地震や風水害が鹿島市でも起こりうるということであり、鹿島市民の安全安心の為に対策が必要だと思ふ。鹿島市のすべての公共施設の耐震強度はどの程度か。

**答弁** 鹿島市のほとんどの公共施設は震度6から7に対応している、ただ

市役所3階がやや強度が弱い、後日耐震強度を増強する。

**質問二** 「災害時の市職員・消防団・自主防災組織の対応と防災訓練は」

災害時に市職員や消防団、自主防災組織が住民避難や救助などの活動されると思うが、やはり日ごろからの訓練をしておくことで、迅速な対応ができると思う。それらの訓練が行われているのか、また要救助者の把握ができていのか。

**答弁** 消防団などの方々は、自らの安全を確保しつつ、それぞれが連携して救助に当たる、25年の高潮対応訓練26年の防災訓練を行った。要支援者の把握は、地域の自主防災組織にお願いしたいと思っている。

下浸水が起きた。その防止策として、鹿島川の横澤橋の下流は浚渫整備されている、上流の浚渫はどうされるのか。

**答弁** 県の計画では年4百メートルの浚渫計画がある。

**質問四** 「ため池ハザードマップ作製」大字高津原地区と納富分にハザードマップが配布され、危険地区の表示があり、避難に役立つと思う。市内にはほかにも高台のため池があるが、それらの地区のハザードマップ作成は。またため池が崩壊した場合の責任の所在は。

**答弁** ハザードマップは作成する。責任の所在などについて、今後研究する。



鹿島川の堆積した濁泥と雑草

一般質問

希少種・クロツラヘラサギとの共生



樋口 作二議員

**質問一** ラムサール条約推進協議会の目的・方向性について

**答弁** 湿地の保全・再生、ワイズユース（賢明な利用）、交流・学習の三つの柱が目的となり、森・川・里・海が一つの市で完結している鹿島市の特徴を生かして鹿島市全体で取り組んでいきたい。

**質問二** クロツラヘラサギをラムサール条約のシ



ンボルとして取りあげていく考えはないか。

**答弁** 貴重な鳥であると認識しており、一周年記念イベントまでに考えていきたい。

**質問三** クロツラヘラサギの特性をどうとらえているのか。

**答弁** 東アジアのみに棲息する世界的な絶滅危惧種で、世界には三千羽ほどしかいない。へら状のくちばしで餌をとり、干潟のような浅い水域がないと生きられない。

**質問四** クロツラヘラサギの調査について

**答弁** クロツラヘラサギの生息状況並びにねぐら環境の現況を把握することを目的に行った。

**質問五** クロツラヘラサギとの共生について

**答弁** 漁港の近くで生活するので人の生活の影響を受けやすいが、工夫して共に生きる道を探りたい。

鹿島市の教育について

**質問一** 教育の原点を意識した教育について

**答弁** 教育の原点のとらえ方は多々あるが、子どもたちの能力を最大限引き出すよう努力していきたい。

**質問二** 学校の持つ人間性構築力について

**答弁** 変化激しい社会でたくましく生きる力を養いたい。

**質問三** 鹿島市子ども教育大綱に掲げる子ども教育の姿とは？

**答弁** 心、体、学力のバランスのとれた成長と自揮することのできる子どもを、家庭・地域・学校のつながりと信頼の中で育てていきたい。



学力向上策について



徳村 博紀議員

**質問一** 家庭環境における学力の向上についてお茶の水女子大の調査研究がなされている。「保護者の子どもへの接し方と学力」の関係で、高学力層ほど回答が多かった項目が、「子どもが小さい頃絵本の読み聞かせをした」「毎日子どもに朝食を食べさせている」「英語や外国の文化に触れるよう意識している」「色々な体験の機会をつくるよう意識している」

また「保護者の普段の行動と子どもとの学力の関係」では高学力層の保護者ほどよくする傾向がある項目に「親が本を良く読む」「新聞の政治経済の欄を読む」「家で手作りのお菓子をつくる」

「学校での行事に良く参加する」等の報告がなされている。家庭環境の面から学力の向上に結びつけていくために、学校で啓発して頂きたいと思う

がいかがか？

**答弁** 校長会等でこれらの事例を紹介し学校から保護者へと広げていきたいと思う。

荒れた空き家・空き地の対策について

**質問** 荒廃した空き家や荒廃した庭木で近所に雑草や害虫問題が発生するような場所がこれから増えてくると思う。家主と連絡がとりづらい場合、地権者・相続人が複数の場合など対応が難しいこともある。こういった場合近隣住民で家屋の清掃や除草をせざるをえなくなった場合、市から補助を受ける事ができるのか？

**質問** 荒廃した空き家や荒廃した庭木で近所に雑草や害虫問題が発生するような場所がこれから増えてくると思う。家主と連絡がとりづらい場合、地権者・相続人が複数の場合など対応が難しいこともある。こういった場合近隣住民で家屋の清掃や除草をせざるをえなくなった場合、市から補助を受ける事ができるのか？

**答弁** 条例に基づいて家主に行政指導を行う。区等に助成は出来るが、行政が入ることが出来るのかどうか判断が必要となる。

防災について

**質問一** 市報に市内の緊急避難場所が掲載されていた。鹿島小学校は耐震上問題ないと思うが、地震時の避難場所としてマールがついていなかったのはなぜか？

**答弁** 県に報告した後に登録となりその後、正式に登録する。

**質問二** 鹿島小学校は地震時の避難場所である。今後誤解が生じないように広報して頂きたい。

**答弁** 市報やホームページに掲載したいと思う。



ラムサール条約推進事業と  
鹿島市のまちづくりについて



稲富 雅和 議員

**質問** ラムサール条約登録を鹿島市のまちづくりにどう活かしていくのか、市長が考えておられる『ワイズユース』とはどのようなものか、基本的な考え方をお尋ねします。

**答弁** 二年前から登録に向けた具体的な作業を進めてきた。地元の皆さんにも理解してもらい議論を重ねていただきました。また、同様の作業をしている佐賀市にリードしてもらった。県・環境省、漁業者、地元小学生が連携した環境学習を続けられ、それに基づきアクションをしてもらったのでスムーズに登録できた。今目標に向かって動き出したのが現況。この登録をしても補助金

来るとか経済効果など選いが自分達が何かを作り出すかが大事。そのためにも推進協議会が必要になってくる。干潟を保全する事、利活用しなければいけないという計画を立て、まとめて頂きたい。条約湿地に登録された57haだけを見るのじゃなく、それが象徴する鹿島市の環境、自然、そこに生きている人達、それが産業につながり長期的に干潟保全をしていく。みんなが思いを一つにし、まとめていく、これが条約のねらいでありワイズユースだと思う。

あまり早急に結論を出すのではなく、経済効果を求めすぎるとはなく、議論を深め多くの人が参加していくのが大事である。佐賀大学の連携関係が、宝の海有明海の保全、環境改善につながっていく。みなさんに自然の魅力が

作ってもらおう。それが登録の効果へ広がっていくことを期待している。



鹿島市が直面する福祉行政について



松田 義太 議員

**災害時における、障がい児・障がい者の方への支援体制と環境整備について**

**質問一** 今回の熊本地震では、被災した障がい児・障がい者の方を支援できる避難所が絶対的に不足し、苦慮しておられる状況が報道されていた。そこで、当市における福祉避難所についてお伺いする。

**答弁** 当市では、エイブル一階保健センター奥の「いきいきルーム」一ヶ所を、福祉避難所としている。この他に指定してないものの、避難所として十分に対応できる施設として、東部中学校、鹿島実業高校を考えている。また、福祉避難所の

要件として、スロープや手すり、障がい者用トイレ等バリアフリー設備の設置、他に、冷暖房、通風、換気の整備、情報関連機器の備えが必要と考えている。

**質問二** 当市においても、福祉避難所が不足していると思うが、今後の対応をどのように考えているのか。

**答弁** 今後、指定施設、協力施設を増やすために市内の障害者福祉ネットワークや介護施設などへ、施設整備に関する調査と協力についてアンケートを実施し、各施設の現状把握に努めている。

**質問三** 熊本地震や今回の集中豪雨など、これまでになく災害が発生しており、早急な対応が必要と考える。先程紹介された市内施設と災害時の連携協定締結の検討が必要ではないか。

**質問四** 指定避難所としてアンケートを実施している段階なので、結果が分かり次第、該当施設と福祉避難所としての連携協定について検討したい。

**答弁** どのような手段が有効か模索したい。最後に障がい児・障がい者の方への災害時の支援は、福祉課だけでなく全庁的に連携し、支援体制確立に努めていただきたい。



前号(84号)見出しの訂正  
84号の7ページ 松田義太議員の一般質問の見出しの訂正  
誤 「市内産物の活用と食育の推進について」  
正 「鹿島市が直面している課題について」

一般質問

意見書第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、  
2017年度政府予算に係わる意見書（案）

日本の教育への公的支出は国内総生産の3.5%で、これはOECD諸国の中で6年連続最下位という悲惨な状況である。そんな中で、障害者差別解消法の施行にともなう障がいのある子どもたちへの合理的配慮への対応や、いじめ・不登校問題、子どもの貧困問題など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大している。特に、特別支援学級の児童数増加、さらには一般のクラスにも支援が必要と思われる児童が在籍していて、突発的な行動の対応に担任が追われる事例が増えている。こうしたことを改善し子どもたちをしっかりと育てていくためには、専門的な知識を持った教員を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

第7次教職員定数改善計画の完成後10年もの間、国による改善計画のない状況が続いていたが、今年度は文科省の概算要求で、教職員定数の拡充を目指す方針が打ち出されている。特別支援教育コーディネーターの専任化を含めて、一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、学校現場の現状を踏まえた教職員定数の改善が不可欠である。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。こうした観点から、2017年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう強く要望する。

記

1. 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月24日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
 衆議院議長 大島 理森 様  
 参議院議長 山崎 正昭 様  
 総務大臣 高市 早苗 様  
 財務大臣 麻生 太郎 様  
 文部科学大臣 馳 浩 様

## 千葉県香取市との友好都市協定を締結



○広報かしま6月号にも掲載されました4月23日の香取市との友好都市協定締結式に行政関係者と共に鹿島市議会からも出席しました。香取市は千葉県北東部に位置し、平成18年に佐原市、小見川町、山田町、栗源町の1市3町が合併し今年4月24日に合併10周年を迎えました。(人口約80,000人)

○香取市に到着後、鹿島藩初代藩主の鍋島忠茂から数えて4代の墓所がある円通寺を訪問し協定締結式に参列、香取市議会団との意見交換をおこないました。



○香取市合併10周年記念行事は佐原囃子の調べに乗り、山車が市内を曳き廻る「佐原の大祭」の夏・秋の各山車が24台一同に揃い壮観な風景でした。

○NPO法人「肥前浜宿水とまちなみの会」と交流が深い、NPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」理事との意見交換や小野川、伊能忠敬旧宅、香取街道など重伝建保存地区を見学、市内道の駅等を視察しました。



## 総務建設環境委員会活動報告

平成24年に発表された鹿島市まちづくり構想(鹿島ニューディール構想)は現在も各施策が進められている。佐賀県の耐震化計画に合わせて移転計画を進めてきた鹿島警察署の視察、佐賀県鹿島総合庁舎と防災センターを備える通称「鹿島新世紀センター」建設は3月議会で請負契約の変更(工期延長)が提出され工事の進捗状況など調査した。

### ☒ 鹿島警察署庁舎視察

- 昭和43年建設された鹿島市大字中村の庁舎の老朽化に伴い、本年4月に鹿島バイパス沿いに完成した鹿島警察署庁舎の視察を業務開始前の4月14日に行った。
- 敷地面積6,400㎡の新警察署庁舎は旧庁舎の2倍近い広さを持ち、駐車場不足も解消される。バイパス沿いの立地も分り易く、事件・事故時の初動体制にも効果を発揮すると感じる。

最新の設備を配置した署内は3階建てとなっており、外観は鹿島城の赤門をイメージした色彩を取り入れている。管轄するエリアは鹿島市、嬉野市、太良町と拡大しており、これからの市民の日常生活の安全と平穩の確保をお願いしました。



### ☒ 鹿島新世紀センター新築工事の立ち入り調査

- 耐震強化のため採用するBCP材(冷間成形角型鋼管)の納品の遅れから工期延長となった新世紀センターの新築工事の進捗状況の確認を行った。
- 調査は4月27日午前10時より建築主体となる基礎・鉄骨・外装・内装・外構工事の途中経過、資材の確認を設計士、施工業者による立会い、説明を受けながら実施した。現時点(4/27)では問題なく順調に工事は進んでおり8月末の完成を目指している。



総務建設環境委員会 委員長 伊東 茂

片渕清次郎・樋口作二・中村一堯・稲富雅和・勝屋弘貞・光武 学・松尾征子

## まちづくり推進構想対策特別委員会視察報告

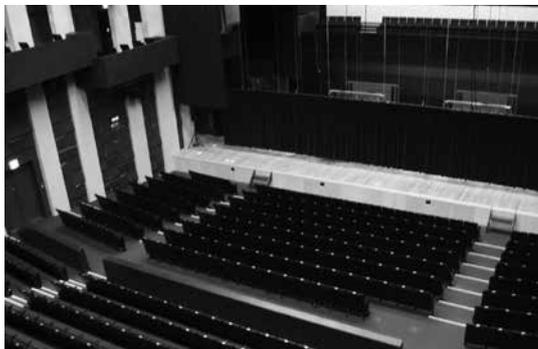
H28.6.28 (火)

☒ **なみきスクエア** (福岡県福岡市東区千早4丁目21番45号)

**事業費** 約118億円(用地費65億円・建設費53億円)

**主な施設** 東市民センター 東図書館 音楽演劇練習場 証明サービスコーナー  
ひまわりひろば 会議室 カフェ(民間事業者)

図書館事業については、紀伊國屋書店・日比谷花壇が共同で指定管理者となり、その他についてはJTBグループが指定管理者となっている。証明サービスコーナーでは住民票や印鑑証明・戸籍証明・納税証明の発行ができるようになっている。現在、駐車場が少ない・誘導サインがわかりにくい等の苦情が寄せられているとのことだったがオープンして間もないため今後改善していく予定で、駐車場については8/1に拡張オープン予定。市民には大変好評を頂いているとのことだった。



☒ **小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぷらっと小城」**

(佐賀県小城市小城市町253-21)

**事業費** 総額22億9550.9万円 国債4億5389.8万円

地方債(合併特例債)16億394万円 市費2億3767.1万円

**主な入居団体・施設** 小城市役所(市民課窓口・水道課) 小城公民館 西九州大学  
サテライト教室 小城市民活動センター 小城市商工会議所 貸店舗

当初利用予定77,000人/年間だったが、現在の利用状況は1月～5月で約63,000人と当初計画の倍近くの利用があっている。維持管理(人件費含む)については年間約5200万円指定管理者にお願いしている。現在苦慮していることが学生の利用が思った以上に多く、一般の人が利用しづらいという事などが挙げられていた。今後建設予定であれば国の支援が強いPFI方式の方が有利ではないかとアドバイスを頂いた。



まちづくり推進構想対策特別委員会 委員長 徳村博紀

片渕清次郎・中村和典・松田義太・勝屋弘貞・伊東 茂・松尾征子・光武 学

# 議会あれこれ

(平成28年4月～6月)

## 4月

- 4日 議会だより編集委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 鹿島警察署新庁舎視察
- 18日 議会だより編集委員会
- 21日 佐賀県市議会議長会  
佐賀県西部広域環境組合議会議員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 千葉県香取市との友好都市協定締結式
- 27日 九州市議会議長会  
鹿島市新世紀センター（仮称）視察

## 5月

- 11日 さが西部クリーンセンター視察
- 18日 議会運営委員会
- 25日 全員協議会  
地方創生対策特別委員協議会  
まちづくり推進構想対策特別委員協議会
- 30日 九州市議会議長会理事会  
臨時佐賀県市議会議長会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 31日 全国市議会議長会総会

## 6月

- 2日 全員協議会
- 7日 総務建設環境委員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 6月定例会 開会 議案の上程（～24日まで）  
全員協議会  
地方創生対策特別委員協議会

## 6月

- 15日 6月定例会 議案審議 質疑、討論、採決  
全員協議会
- 17日 文教厚生産業委員会
- 20日 6月定例会 一般質問（～22日まで）  
文教厚生産業委員協議会
- 22日 議会運営委員会  
全員協議会
- 24日 6月定例会 議案審議、質疑、討論、採決、閉会  
全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 まちづくり推進構想対策特別委員会行政視察

## 行政視察受入状況(平成28年4月～6月)

4月26日 大阪府羽曳野市議会 7名

5月18日 岡山県真庭市議会 7名

5月20日 千葉県香取市議会 6名

5月24日 熊本県玉名市議会 3名

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	3,000	1	5,000	0	0	2	8,000
会費	1	4,000	3	10,000	3	11,000	7	25,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	7,000	4	15,000	3	11,000	9	33,000

## 編集後記

今回の議会だより6月号より私たちが編集委員を担当します。市民の皆様に分かり易い紙面づくりに努めます。「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を基本構想とする第六次鹿島市総合計画がスタートしました。我々議員も市民の負託に応えることができるよう精一杯頑張っていきます。



### 【編集委員】

委員長 片淵清次郎  
副委員長 中村一寛  
委員 松尾征子  
委員 伊東茂  
顧問 光武学

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。